

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶんば			
○保護者評価実施期間	令和6年 8月 1日		～	令和6年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和6年 8月 1日		～	令和6年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年8月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療ケア児の受け入れ態勢	毎日常勤で看護師を配置してます。	従業員の補充が叶えば更に看護師を追加して、医療ケア児の受け入れ強化に取り組みたい
2	集団療育から個別療育まで幅広く対応した療育プログラム	年齢別に合わせた療育プログラムの作成や違った年齢同士のコミュニケーションを大事にしたプログラムの作成	ずっと同じ療育プログラムにならないように従業員間で話し合いながら色々な事を計画している。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	契約当時は未就学児だった子供たちが小学生になり体も大きく成長してきているので、未就学児との対格差がでてくるようになってきた。	体格差が大きくなり、ケガのリスクがふえたので、それに対応する必要がある。	小さい児童がいる場合は事業所内を走り回ったりしないように声掛けをしたり、ぶつからないように注意を払っている
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぶんば

公表日 令和6年 9月 6日

利用児童数 10人

回収数 7人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	84%		16%		送迎を依頼しており、実際の保育をしている場面を見ていないため「どちらともいえない」としました。	モニタリング時に施設に直接お越しいただいて再度施設を見学したり、子供がどういう風に過ごしているか見て頂いた。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	84%	16%				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	84%	16%			室内の設備をよく知らない。契約時に一度行ったきりなので覚えていないため「どちらともいえない」としました。	モニタリング時に施設に直接お越しいただいて再度施設を見学したり、子供がどういう風に過ごしているか見て頂いた。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	100%					
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100%					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				・当施設に通うようになり、色々な事に興味が広がり、お友達と関わりながら遊ぶことも上手になってきたり、声をかけられなくても、自分のことは自分でやろうとする姿勢が見れるようになった。 ・日々成長しているなど感じる場面が増えて頼ちしくなってきた。 ・こちらの都合や要望にも丁寧に答えて下さるので本当に有難く感謝している。 ・いつもよく子供の様子を見て下さり、報告もして下さるので、安心して預けられます。モニタリングもしっかりお話をせてもらえて良かったです。 ・子どものペースに合わせて頂いて本当に感謝しています。活動記録を見るのをいつも楽しみにしています。 ・家ではできないたくさんさんの経験をさせてもらいこれから子供の成長も楽しみです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ぶんば		令和6年 9月 6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		指導訓練室、相談室を別に確保してます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名(常勤1名/非常勤1名)、保育士3名(常勤3名)、看護師1名(非常勤1名)、公認心理士1名(常勤1名)、その他従業員7名(常勤3名、非常勤4名)、運転手9名(常勤5名、非常勤4名)	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		ワンフロアで利用児童に目が行き届くように配置しています。扉の鍵は児童が届かない位置に設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日施設内を次亜塩素酸で消毒しています。スタッフの体温管理はもちろん利用児童の体温測定も必ず言っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		状況に応じて個別空間を作るよう心掛けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		定期的にミーティングを行い話し合いを行い、振り返りを反映するようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		評価表を作成した段階で職員間でミーティングを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		定期的にミーティングを行い話し合いを行い、振り返りを反映するようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		今後必要に応じて行う予定である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		重心連絡会への参加、勉強会への参加、BCP研修、虐待防止研修、障がい者差別解消法研修に参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		モニタリング時に保護者と決めた計画を基に短期目標や長期目標に取り組めるように努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		児童一人一人の細かな情報は従業員間で情報共有できるように従業員間で話し合う機会を設けている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		おこなっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		児童発達支援ガイドラインに沿って計画を作成し、支援内容なども設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		活動プログラム作成時には、意見を出す人や纏める人、それを確認改善する人の役割分担をおこなっている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		活動プログラムに関しては毎月変化があるように、固定曜日の療育にならないように配慮している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		こどもの発達段階に考慮して計画して支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		前日から情報共有を行ったり当日の情報も共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		その都度ミーティングを行い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日の児童の活動を記録し保護者へ渡しており、その記録用紙に保護者からの伝達があれば情報共有をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		5月11月の6ヶ月ごとに必ずモニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		依頼がある場合は必ず参加して、情報共有を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		保護者を通じて、利用児童の主治医に医療指示書を作成してもらい医療的ケアを実施している。保護者と病院名、担当医師、連絡先を共有しており、緊急時など必要がある場合には直接連絡をとることにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		入学準備がスムーズに行えるよう保護者や市の相談員と情報を共有しています。現在は直接就学学校とのやり取りはしていませんが、必要があれば実施します。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	100%		放課後連絡会、重心連絡会に参加し事業所同士で連携をとっています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%		地域のイベントがある場合は可能な限り参加して交流できるように取り組んでいる。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		毎日の児童の活動を記録し保護者へ渡しており、新しくできたことや、これからの課題なども送迎時に伝えたりして情報共有をおこなっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%	家族支援に関しては適宜対応している。	参加できる機会や研修に関しては今後検討していきたい。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		運営規定については重要事項説明書にて契約時に詳しく説明しています。支援内容、利用者負担については契約書や重要事項説明書とは別にリーフレットや料金表を作成し分かりやすく説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		利用を開始する前の保護者による事業所の見学や契約の際に利用児童の様子や課題、保護者の意向を聞き取り、アセスメントシートを作成しています。個別支援計画を作成し2～3ヶ月に1回スタッフにて利用児童ごとに会議を行い目標に対しての評価を行っています。個別支援計画はアセスメント後やモニタリング後の計画修正のたびに保護者に計画書を手渡し説明しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		相談などがあれば電話や送迎時などに相談にのったりしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%		今のところそういった機会を設けていなかった。今後計画できるように努める。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談などあれば直ぐに対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		SNSに行事の毎の写真のUPや、日々の活動記録にてその日の出来事や活動の様子を記録用紙にて保護者にて渡している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		利用児童又はその家族の個人情報について「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」を遵守し適切な取扱いに努めて	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		保護者の意見も汲み取り対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		今後そのような機会があれば計画したい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		各マニュアルを整備し、マニュアルの設置場所はスタッフが周知しています。自然災害・感染症マニュアルについては保護者へも配布しています。月に一度避難訓練等を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		月ごとに避難や救出の内容を変えて訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		てんかん発作や持病がある場合は、契約時に教えてもらったり、服薬や予防接種がある場合はその都度、保護者から報告してもらい全職員で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		食物アレルギーや医師の指示書がある場合は事前に情報を頂き周知している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		マニュアルに基づき研修や訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		周知徹底を心掛けている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		事件発生時にはすぐに事業所内で共有しヒヤリハット報告書を作成しています。発生後は必ずその事案についてミーティングを実施し全スタッフにて共有し再発防止策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止研修に参加し、その内容を他の従業員とも共有し話し合いを行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		現在身体拘束が必要な利用児童がいないので行っていません。今後必要がある場合には、身体拘束同意書に基づいて保護者に説明書し了承して頂いたうえで必要最低限の拘束を実施する予定です。	